

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	海洋プラスチック対策推進事業			事業番号	010-052
担当部署名	環境	局	カーボンニュートラル推進	部	環境政策

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②海洋プラスチック対策の推進			
			有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)海の豊かさを守ろう	ターゲット	14.1,14.5	
		寄与するKPI	有	取組	民間事業者や近隣自治体と連携した海洋プラスチック対策の推進			
			有・無	指標名	レジ袋辞退率※「堺市域における使い捨てプラスチック削減に関する協定」締結事業者のうちスーパーマーケットの報告における平均値			
		有	現状値	50.7%(2019年度)	目標値	85.0%(2023年)		

2	関連計画	堺環境戦略			
3	事業開始年度	令和 2 年度	終了（予定）年度	令和 5 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺環境戦略			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、地域団体、民間企業、NPO等			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、飲食店等の使い捨てプラスチックを使用する事業者等	対象数	817,441	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市域における使い捨てプラスチックの過剰な利用を抑制し、必要のないプラスチックをできるだけ使用しないプラスチックフリーなライフスタイルへの転換を促す、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Freeチャレンジ」を推進し、SDGs及び大阪ブルーオーシャンビジョンの達成に寄与する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	○令和3年度にさかいSDGs推進プラットフォームの堺環境戦略・脱炭素都市推進プロジェクトチームにおいて、海洋プラスチック対策グループを組成。これまで、民間事業者との協働で海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組を検討した。 ○令和4年度は会議の開催及び「チャレンジ！使い捨てプラフリー生活」キャンペーンを実施した。同キャンペーンでは、ショッピングモールやスーパーマーケット等で、グループのメンバーと連携し、ブース出展等を通じて、市民に情報発信を行った。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)				
10	公民連携・協働事業	さかいSDGs推進プラットフォーム 堺環境戦略・脱炭素推進都市プロジェクトチーム 海洋プラスチック対策グループの設置			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 終了(予定)年度	
	さかいSDGs推進プラットフォームの堺環境戦略・脱炭素都市プロジェクトチーム(海洋プラスチック対策推進グループ)の参加メンバー	者	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	
			目標値	20	20	-	-
			実績値	14	13		
達成率	70%	65%					
	当該指標を選定した理由	海洋プラスチック対策における統一的な情報発信や周知を市民等に行うにあたり、グループへの参加メンバーが増加することで、より幅広く効果的な情報発信を行えるようになるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和5年度は、グループの解散に係る会議を開催するのみであるため、目標値は設定していない。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	上記グループへの参加を案内した企業等の数	者	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	50	50	-	
			実績値	46	46		
達成率	92%	92%					
	当該指標を選定した理由	海洋プラスチック対策推進グループへの参加メンバーを増やすため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和5年度は、グループの解散に係る会議を開催するのみであるため、目標値は設定していない。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	海洋プラスチック対策推進事業	事業番号	010-052
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	2	0	0	0	0
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源	2	0	0	0
14 人件費 (b)	0	328	328	328	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2	328	328	328	0

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	決算		
16 事業費内訳	R4	決算			R4	決算		
						R5		
	R4	決算			R4	決算		
						R5		
	R4	決算			R4	決算		
						R5		
	R4	決算			R4	決算		
						R5		
	R4	決算			R4	決算		
						R5		
	R4	決算			R4	決算		
						R5		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① さかいSDGs推進プラットフォームの堺環境戦略・脱炭素都市プロジェクトチーム（海洋プラスチック対策推進グループ）の参加メンバー	者	14	13
② 上記①にかかる年間経費	千円	328	328
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	23,429	25,231
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年度も令和3年度と同様、人件費のみの負担で効果的・効率的に事業を進めた。イベントでは、会場借上費や啓発物品等をメンバーに提供いただき、多くの市民に費用対効果の高い情報発信を行うことができた。
令和5年度からは、予算上、海洋プラスチック対策単独での事務事業は設定しないが、今年度までのノウハウを活用し、引き続き民間事業者との連携も含め、海洋プラスチック削減に向けた取組を進める。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 商業施設やメーカー等と連携したイベントを実施し、多くの市民に情報発信することで、海洋プラスチック問題や使い捨てプラスチック削減に資する製品・サービスに関する認知を向上することができた。これにより、定量的な評価は困難であるが、KPI（CO2排出量・ごみ排出量）の達成への寄与を図っている。